

らない。

憲法改正投票法案が、教育基本の改正が、自民党、公明党によって国会を通過した。次は何が狙われているのだろうか。戦争ができる国、徴兵制度を敷こうとするのだろうか。戦慄を覚える。

人類の歴史は戦争の歴史なのか。歴史は繰り返すというが、核の時代に許されることでは決していない。

「戦争をおこすのは、

たしかに、人間です。

しかし、それ以上に戦争を許さない努力のできるのも

私たち人間では

ないでしょうか。」

(『平和への証言』より)

全国交流集會に参加して

事務局次長 天久 正範

五月九日、十日、静岡県熱海市の後楽園ホテルで全国から一四五名が参加して「全国交流集會」が開催されました。初参加役員の派遣ということで嘉手納光枝さ

んと私が参加しました。

一日目は会長あいさつがあり、その中で来年は生協法が改正され、会員以外は利用出来なくなるので、今年中に一口でも加入すれば来年以降拡大も出来ること事でした。

七月に加入促進があるのでも一口でも加入するよう勧めてほしいとのことでした。

続いて記念講演があり、民主党衆議院議員枝野幸男氏の「憲法改正の動向」と、企画組織部長安永貴夫氏の「NTT労組の当面する課題」があり、①参議院選挙、②きびしい経営がしばらく続く中で七年ぶりの賃金要求、③組織強化について

の話がありました。二日目は五つの分會があり、私は第二分會に参加しましたので、各支部協の活動状況を報告します。

○アピール21、選挙については、全支部とも今のところ、発表できる状況にない。

○機関紙を世話人(班長)を決めて、手配りしている支部が何件かありました。

○年一回の小旅行、国内、国外旅行をしている。

○ホームページを作成している支部もありましたが、今のところ利用は少ない。

○確定申告の相談会、弁護士を呼んでの勉強会、○八〇歳以上の方を年一回家庭訪問している。

その他いろいろありますが、各支部とも組織強化については苦勞しているようでした。

北部地協第五回 グラウンドゴルフ大会

「はれて」と 神だのみ!!

会長 与那覇 誠勝

第五回グラウンドゴルフ大会が二〇〇七年六月六日午後二時より、名護市野外ステーション前広場で梅雨時期、大変天候を気にして何回となく天気情報をチェックし神にも祈る気持ちでい

たが、どうやら晴れてくれて、黒島善市会長をお迎えし参加者二十七名(男子二十一名、女子六名)で無事実施する事が出来ました。

成績は、優勝 多嘉山朝安、準優勝 比嘉正巳、三位 与那覇誠勝、女子優勝 金城光子(会員の奥さん)



が見事優勝しました。

ゲーム終了後、表彰式をかねて親睦会に移り、ビールを飲み交わしながら日常の状況を語り合い楽しく交流を深める中、支部会長より退職者の会の旗(のぼり)が贈られ、県支部との一体感がより一層近づいたと思います。

また、「お互い、いつまでも元気で楽しく暮らすことが生きがいである」と会長が強調し、「そのために日頃の活動に励み、お互いに交流することが一番いいと思う。今後とも共に協力し合い、この会がより一層発展することを願う支部として出来るだけ協力していきたい」と挨拶があった。

今回は梅雨時で、大変気

にして二転三転会場を変更して実施しましたが、多くの会員の皆様方にご迷惑をおかけしましたこと、申し訳ありませんでした。しかし、それもご理解くださいたいと思います。

今後は、梅雨時期の開催は充分検討し、実施していく方がいいのではないかと思います。

事務局だよ!

一、カテナ包囲行動参加要請を出したのは良いが、事務局は「木曜日は休み」ということで閉じていました。そしたら、朝から電話が鳴りっぱなしだったということと支部から叱られました。次回からは、会員への参加要請を行った時は、事務所を開けるようにします。

一、包囲行動への退職者の会からの参加者は、家族連れの方含めて約二〇名程いました。電話対応しておれば、参加者ももっと増えたと思われ、残念だと思いたい、申し訳ないという思いで、いっぱいです。一、包囲は失敗しましたが、情報労連・全駐労・航空労組の三労組に指示された範囲は、第四ゲートから嘉手納署に向けての五〇〇mとこのこと。実質的には、この

距離は一一〇〇mあり、指

示範囲(距離)の皆さんが指摘されています。結果として、「つながりません」でした。しかし、その隣りの嘉手納署から安保の見える丘の間は、二重になる程人間の輪はあふれていました。

一、六月は、NTT労組最大の平和運動(沖縄・広島・長崎)のひとつ、沖縄での戦跡・基地めぐりがあります。憲法を改悪し、戦争ができる軍隊を作りたい安倍政権や日本議員連盟の右翼の方々には、沖縄が発信し続ける「軍隊は住民を守らない」という事実、何が何でも消しつづぶしたい事実でしょう。だからまず、教科書から消し、文学作品でも宣伝していません。全国から参加されたNTT労組の仲間の皆さんが、沖縄で「この事実」をひとり、ひとりが確認して、職場や地域の人々に伝え、拡大していき

るかが、問われていると思います。一、「この事実」は、沖縄のみで起こり、他地域では起こり得ないのか。私は、そうは思いません。武器を持った組織、軍隊の本質のひとつと見ています。すでに、現防衛大臣が「クラスター爆弾」の件で、占領されるよりは、「自国民が犠牲

弾」を擁護しています。